

北上市 復興交付金事業計画 復興交付金事業等

Table with columns for No., 事業番号, 事業名, 地区名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 総交付対象事業費, 各年度の交付対象事業費 (平成23年度 to 平成32年度), 事業間流用額, 全体事業費, うち特定市町村又は特定都区道以外, うち特定市町村又は特定都区道以外, 全体事業費前年, 備考. Includes summary rows for (うち市町村交付分), (うち県交付分), (うち基幹事業), (うち効果促進事業等).

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号) - (同一事業計画中の同様の事業の通番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号) - (最も関連する基幹事業ごとの通番号)」となるよう記載する。
(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
(注3)「総交付対象事業費」、「各年度の交付対象事業費」、「事業間流用額」欄の上段( )書きは、前回までに配分された額等を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段 < >書きについては、自動計算される。
(注4)「各年度の交付対象事業費」欄の中段の計数は、様式1-4の「交付対象事業費(b)」欄と必ず一致させること。
(注5)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。なお、事業間流用を行った場合は必ず流用後の全体事業費を記載する。
(注6)「全体事業期間」は、平成32年度までの事業期間を記載する。
(注7)「年度間調整又は事業間流用を行った場合は」、「事業間流用額」欄には流用額を、「備考」欄には年度間調整又は事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載し、必ず様式3との整合を図ること。
(注8)担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。

(様式 1-3)

北上市復興交付金事業計画 復興交付金事業等 (岩手県交付分) 個票

令和2年3月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	6	事業名	災害公営住宅家賃低廉化事業	事業番号	D-5-1
交付団体		県	事業実施主体 (直接/間接)	県 (直接)	
総交付対象事業費		37,578 (千円)	全体事業費		43,795 (千円)
事業概要					
<p>東日本大震災津波により住宅を失い、岩手県内陸部に避難し、みなし仮設住宅等に入居している被災者の居住の安定を図るため、災害公営住宅を北上市内に建設し、被災者用の恒久的な住宅を提供するものである。</p> <p>当該事業は、被災者に対して低廉な家賃で災害公営住宅の供給を行うものであり、入居者の経済的な負担を緩和することにより、生活再建の支援を図るものである。</p> <p>北上市内1地区：管理戸数34戸 (事業対象戸数34戸と想定)</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成31年1月11日)</p> <p>災害公営住宅の新規管理団地の家賃低廉化に係る費用が必要となったため、大槌町D-4-4災害公営住宅整備事業から6,217千円 (国費：H23繰越予算5,439千円) を流用。これにより、交付対象事業費は6,217千円 (国費：5,439千円) となる。</p>					
当面の事業概要					
<p>【地区名】管理戸数 (カッコ内は事業対象想定戸数)</p> <p>H31～管理開始：【黒沢尻】34戸 (34戸)</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災津波により住宅を失い、岩手県内陸部に避難し、みなし仮設住宅等に入居している被災者に対して行った被災者意向調査の結果、北上市内への建設必要戸数は34戸である。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
なし					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式1-3)

北上市復興交付金事業計画 復興交付金事業等 (岩手県交付分) 個票

令和2年3月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	7	事業名	東日本大震災特別家賃低減事業	事業番号	D-6-1
交付団体		県	事業実施主体 (直接/間接)	県 (直接)	
総交付対象事業費		3,825 (千円)	全体事業費	4,501 (千円)	
事業概要					
<p>東日本大震災津波により住宅を失い、岩手県内陸部に避難し、みなし仮設住宅等に入居している被災者の居住の安定を図るため、災害公営住宅を北上市内に建設し、被災者用の恒久的な住宅を提供するものである。</p> <p>当該事業は、災害公営住宅の家賃の低減を行う事業であり、入居者の経済的な負担を緩和することにより、生活再建の支援を図るものである。</p> <p>北上市内1地区：管理戸数34戸 (事業対象戸数34戸と想定)</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成31年1月11日)</p> <p>災害公営住宅の新規管理団地の家賃低減に係る費用が必要となったため、大槌町D-4-4災害公営住宅整備事業から676千円 (国費：H23繰越予算507千円) を流用。これにより、交付対象事業費は676千円 (国費：507千円) となる。</p>					
当面の事業概要					
【地区名】管理戸数 (カッコ内は事業対象想定戸数) H31～管理開始：【黒沢尻】34戸 (34戸)					
東日本大震災の被害との関係					
東日本大震災津波により住宅を失い、岩手県内陸部に避難し、みなし仮設住宅等に入居している被災者に対して行った被災者意向調査の結果、北上市内への建設必要戸数は34戸である。					
関連する災害復旧事業の概要					
なし					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

